



クマ対策



たけの子は野外保育を主としていますがクマ被害に園児達があわないよう注意しながら活動しています。2023年以降、過去最多クラスの出没と人身被害が毎年のように記録される異常事態となっているクマの出没増加。その主な要因は

- ・生息数と分布の拡大：保護対策とハンターの減少
- ・人間社会の変化：人口減少と過疎化
- ・学習効果と人馴れ：人里に安全にエサがある場所と言われていますが、では、わたし達にできる対策はなんなのでしょうか。

米沢市からのお知らせを基に一緒に考えてみましょう。

◇朝の散歩は明るくなってから

クマは、早朝、夕方および夜間に活動が活発になります。特に山林近くでの早朝、夕方および夜間の散歩やジョギングは控えましょう。



◇音の出るもので、クマに自分の存在を知らせる

山や林に入るときや田畑に出る時は、ラジオやクマ鈴、笛などの音の出る物で人の存在をクマにしらせましょう。



◇子連れのカマに注意

子グマを見たら、近くに母グマが警戒していると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながらできるだけ早く



遠ざかりましょう。

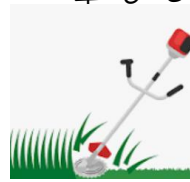
◇生ゴミなどを放置しない

取り残しの果実や農作物、生ゴミ等を放置するとクマを呼び寄せます。除去し、ゴミのポイ捨てもしないでください。



◇やぶの刈払いや下草刈りをする

クマはやぶなどに身を隠して移動します。家の周りのやぶの刈払いや下草刈りにご協力ください。



◇クマが市街地に出没したら、速やかに身を守る

近隣にいる方は、屋内に避難し、安全が確認されるまで外に出ないようにしてください。クマが侵入しないように自宅や倉庫などは鍵をかけてください。



わたしは米沢市の公式ラインに登録しているのですが、そこからクマの出没情報は随時送られてきます。それを確認しながら、他のスタッフとも話し合い、活動場所を決めています。

クマ鈴は、わたし達スタッフはもちろん、園児もそれぞれリュックにつけて歩いています。

以前は生ごみを発酵させて、畑の肥料としていたのですが、現在は行っていません。

クマが人を襲う主な理由は「不意の遭遇によるパニ

ック」「子熊を守る防衛本能」「エサをめぐる執着」の3つと言われています。米沢市から送られてきた具体的な対策をこれからもしっかりと取っていきます。

とにかく、クマに出くわさないようにすることが肝心です。そして、万が一、出くわしてしまった時のために熊スプレーも常備しています。

今後は園児達にも熊に出くわしてしまった時のための訓練もしていかうと考えています。



自然との共生は、ただ、自然の中で活動すればいいということだけではありません。人間の知恵と勇気を使って、人と野生動物がお互いにその領域に従って生きていけるようにこれからも考えて行動していきたいと改めて思っています。

迎見 妙子



5/18から、4羽の鶏さんが仲間入り。まだピョピョ言っています。慣れてきて、小屋から出てお散歩してます。